広報あいら

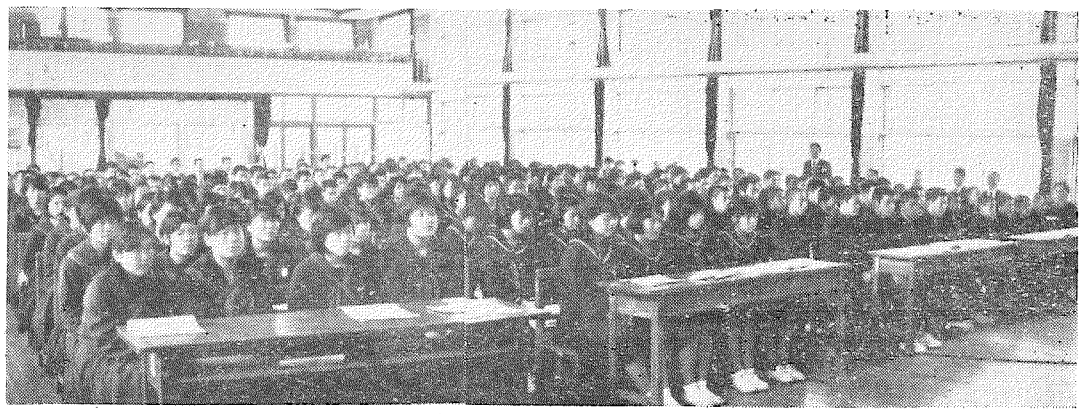
発行所 鹿児島県姶良郡姶良町役場
発行人 池田盛孝 編集人 吉井忠夫
（印刷所）キング堂印刷所

町の人口動態
（3月1日現在）

世帯数		6.213戸
人口	男	10 672人
	女	12.199人
	計	22.871人
2月の	出生	27人
	死亡	26人
	転入	111人
	転出	141人

就職者代表謝辞
池田忠久君

はげます金丸光代さん



激励のことばに聞きいる就職者

特別職一般職の給与等引上げ

二月臨時議会

二月二十五日に第一回の臨時議会が招集された。附議された事件は次のとおりです。

◇分校の廃止に関する件（可決）
重富小学校の分校である高牧分校は児童減少によって三月三十一日限りで廃止するもの

◇霧島伝染病棟組合規約の一部を改正する規約（可決）
霧島伝染病棟組合に、横川町と栗野町を加えることと、組合議員の定数を四名多くふやすもの

◇四十年中津野地区農道災害復旧事業分担金徴収条例制定の件（可決）
中津野地区農道災害復旧事業の受益者から分担金をとるもの

◇特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（可決）
町長八九、〇〇〇円（現行八一、〇〇〇）、助役六六、六〇〇円（現行五九、一七〇）、収入役六〇、三〇〇円（現行五三、二五〇）に増額し四月分から支給するもの

◇教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例（可決）
四七、七七〇円を五三、二〇〇円に増額し四月分から支給するもの

◇議会議員の報酬、費用弁償及び手当等に関する条例の一部を改正する条例の件（可決）
議長二二、〇〇〇円（現行一八、〇〇〇）、副議長一八、〇〇〇円（現行一五、〇〇〇）議員一五、〇〇〇円（現行一二、〇〇〇）にし四月分から支給するまた十二月十五日支給の期末手当の率を十％引上げるもの

◇職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（可決）
国家公務員に準じて改正があった。扶養手当の支給および停止の基準日の変更、通勤手当の限度額九〇〇円を一、一〇〇円に自転車通勤は四〇〇円を四五〇円に、単車等は四五〇円を五〇〇円に、十二月支給の期末手当の率を十％増額に、それぞれ改めた。
一般職の給料表は最低額一五、五〇〇円（現行一三、三九〇）最高額五八、四〇〇円（現行五四、四七〇円）に、医療職の給料表は、最低額四〇、四〇〇円（現行三七、八〇〇）、最高額八四、二〇〇円（現行八〇、〇二〇）に改め、それぞれ九月一日にさかのぼって支給するもの

◇一般会計補正予算承認の件（可決）
八、三二三千円を追加して総額三二八、七九九千円になるもので、主に給与引上げによるもの

◇特別会計国保事業勘定補正承認の件（可決）

◇特別会計国保施設勘定補正承認の件（可決）

◇特別会計上水道事業補正予算承認の件（可決）

◇特別会計簡易水道事業補正予算の件（可決）

新年度頭初予算審議はじまる

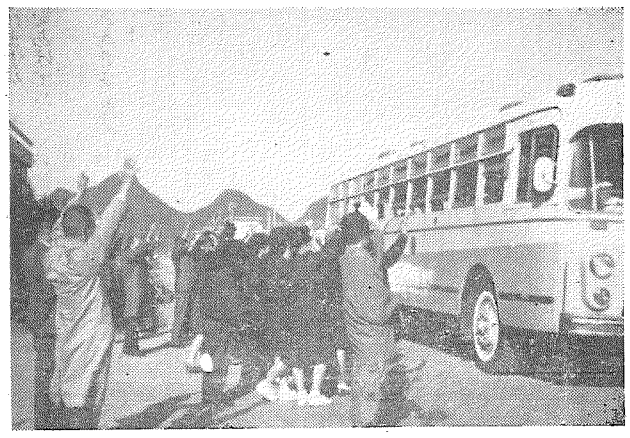
三月定例議会

三月十二日定例議会が招集され会期を十二日から二十九日までの十八日間とり、頭初予算や条例その他議案の審議がはじまりました

りつぱな社会人として

中卒就職者壮行会

五日小春日和の暖い日がいっぱいにさした帖佐中学校の講堂で、この春卒業のうち、二〇八名の就職者を送る会が開かれた。
教育委員長代理から開会あいさつのあと、池田町長から激励のことばがあった。つづいて、国分職業安定所長、森川町議会議長、吉井帖佐中学校長、花田町PTA連合会長、花田町婦人会長から、はなむけのことばがあった。また、在校生代表山田中「金丸光代さん」から「兄さん、姉さん元気でがんばってください」と力強くはげました。このあと、就職者代表北山中「池田忠久君」から「諸先生方のおことばにたいし、一生けんめいがんばります。」とほほを紅潮させて誓った。
このあと「美しい糸とともに」という映写があり、このフィルムは紡績に働いている姉さんたちの様子をえがいたもので、皆くいいるように見ていた。
つづいて町からの菓子をいただき、お互い同志の話し合いがもたれ万才三唱し解散した。



(1) 学校別集計

学校名	男	女	計
帖佐中	三六	三三	六九
重富中	一七	二一	三八
山田中	二二	三二	五四
北山中	一八	二九	四七
計	九三	一一五	二〇八

(2) 方面別概要

大阪方面		六〇人
愛知方面		三〇人
名古屋方面		一七人
岐阜方面		一四人
東京方面		一〇人
広島方面		四人
神奈川方面		五人
京都方面		二人
奈良方面		一四人
滋賀方面		三人
姫路方面		六人
鹿児島方面		二七人
その他方面		一〇人
自宅		六人
計		二〇八人

「就職自動車出発」

二〇八名の就職者はいくつかのグループに分かれ、十六日から二十八日まで、役場前を毎日午後四時すぎに、町長の激励のことばを受け、同僚や父母、役場職員等の万才三唱をうけ出発しています。
つめえりの学生服に、セーラー服、中には就職先の服をきた就職者たちは、父母や同僚たちにかこまれ、あちこちで役場をバックに記念さつえい、親子の話し合い、別れの話しがつきない。
花田助役は東京西部自動車につとめる池田君と役場職員を前に「もう昔のことだが満洲という異国にちょうど君達と同じ年頃に渡った。だが今は東京と言ってもすぐそこだからね」とはげましていたバスがきた。就職者たちは大きなトランクをかかえ、母はオドオドして、早や顔にハンカチをあていよいよ出発だ、町長の万才の音頭に同僚や役場職員もつづいて万才万才と、「がんばってね」、「がんばれよ」との声々に、いままでじっとこらえていたのだろう、顔がくしけてほほへ三すじ四すじ流れ、（かって泣いたことのないむしろ親に口答えしたあの子が）父母や同僚たちはバスが見えなくなるまで手を振っている。
母はハンカチをあてている。ふと遠い昔のことを想いうかべ、目がしらがあつくなる。

青少年から見た防犯（作文）

青少年の防犯

帖佐中三年F組 前田広子

戦後めざましく増加してきたものの一つに、青少年の非行があげられている。現にだれもが新聞などのマスコミによってしばしば青少年の犯罪を目にしているのであるが、近頃このようなことが一般化してしまって、あまり人々が注目しなくなった気がする。
二日ばかり前の新聞だったと思う。ふと「列車内で乱暴」という六つの文字が、私の目を捕えた。思ったとおり乱暴した者は高校生で、その被害者も高校生であった内容は、通学中に乱暴をしたり、金をおどし取ったりしていたのだそうで、それも過去十一回もくり返され、被害を受けた高校生のひとりが、通学がいやになり、学校をやめると言い出したため、心配した両親が行政相談員に相談したことから明るみに出てきたのだと言う。このように、新聞に掲載されるほどの犯罪はごく一部の典型にすぎないと思う。言い換えれば私たちの身の回りには小規模な犯罪などは、始終おこなわれていると考えてよいかもしれない。
ちょうど私たちの年頃、中学生後半から、高校生にかけての落ごう者が多いのには、いろいろな原因があると思う。肉体的発達と、精神的発達とが伴なわず、どっちつかずの中途半端な頃である。自分では決して誤っていないと信じていてもあんがい浅はかな考え方だったりする。その上思春期とか反抗期などが重なって、おとなの人々から、まったく手におえない、なんがい、わけのわからぬまま、ただおもしろ半分でいる人が大部分であろう。そしてもとを正せば、彼らの多くは、人の良いために、誘惑にまけてしまった人たちだと思う。だから、自分ひとりでは何もできなく、グループではできる人たちなのであろう。なんといっても、今、自己のおかれている立場を考え自分を少しでも良くしていこうと思うならば、きょうからだということを、忘れてはならないと思う。それにもし被害を受けた人たちもそれを隠さず、すぐ警察か、相談員に届けることが加害者を非行からすくい出すひとつの方法だと信ずる。
近年県内でも、青少年防犯球技大会とか、スポーツ少年団とか言った各種団体の競技大会が活発になってきつつある。文明の発達と自由主義気風とがからまって非行のおこりやすい世の中であろうがまわりの暖かい愛情と、自己抑制によって、ひとりでも非行者の出ない世の中にすることが青少年犯罪防止の大きな課題ではないだろうか。

香典返し

▽町社会福祉協議会へ
一金弐千円也 故黒木ツマ様 85
上の上 黒木清二殿
一金参千円也 故居迫善吉様 70
春花上 居迫直人殿
一金弐千円也 故大重重盛様 58
仮屋 大重咲殿
一金弐千円也 故徳田一郎様 63
建昌 徳田ミツエ殿
一金参千円也 故北野カツ子様 60
北野 北野親殿
一金弐千円也 故宮園チヨ様 79
触田上 宮園三次郎殿
一金参千円也 故吉井政雄様 73
坂下 吉井のり殿
一金参千円也 故岩爪徹様 43
宇都 岩爪初子殿
一金壱千円也 故山中スマ様 53
仲町 山中佐則殿
一金弐千円也故長崎イセマツ様 66
地蔵 長崎勝之助殿
一金弐千円也 故中前園万吉様 78
西之妻 中前園チヨ殿
一金参千円也 故内甑ケサ様 85
内甑 内甑正好殿
一金参千円也 故牧元モイ様 96
新馬場 牧元幹殿
一金参千円也 故池田タツ子様 36
深水 池田甚士殿
一金弐千円也 故福迫邦熊様 74
上水流 福迫貢殿
一金弐千円也 故村田熊吉様 83
建昌 村田アヤ殿
一金参千円也 故横山慶子様 50
高樋 横山貞文殿
一金弐千円也 故和田静哉様 68
帖佐駅前 和田キイ殿
一金参千円也故佐川小右ェ門様 77
白浜 佐川進殿
一金参千円也 故竹下ユカ様 67
坂下 竹下次男殿
一金壱千円也 故垂脇ケサ様
東原東 垂脇四男殿 85
一金弐千円也故吉川ツルマツ様 87
地蔵 吉川光金殿
一金五千円也 故溝口ワセ様 63
飛野 溝口岩松殿
一金弐千円也 故白坂静様 74
高樋 白坂ヒナ殿
一金参千円也 故下野静助様 84
三拾町 下野ツル殿
41・3・17現在

拾得金謝礼寄付

一金弐百五拾弐円也
東餅田一二五番地 町田勝男殿

自衛隊協力会結成大会

四月十五日午前九時半から建昌校講堂で音楽隊を招き開きますから会員多数お出でください。

もうすぐ一年生
入学前の家庭指導を

むりじいはきんもつ

小学校一年生への入学は、人生における大きな転機の一つといえましょう。それは学校教育という意図的な学習生活の内容が加わり時間的な規制をうけ、集団生活の仲間入りをするからです。このことは子どもたちにとって大きな喜こびであると同時に、多少の不安でもあります。

したがって、このような新しい人生の転機に立つ子どもたちに対して、家庭でどのように指導したらよいかということは、子どもの将来からみて、きわめて重要な意味をもつものです。そこで、どのようなことを指導したらよいかということになりますが、それは、あくまでも今までなされてきた子どもの生活を基盤にしながら、少しずつ学校生活には入るに必要な生活習慣を無理なく身につけさせてやるように心がけることです。

子どもによっては、すでに、このような生活への適応ができるようになっている場合もあろうし、これから新しくしつけていかなければならない場合もあり、個人によって、いろいろ違ってまいります。「角をためて牛を殺す」ということわざがありますが、これから必要な生活態度を身につけさせようと指導するときに、あせりすぎて、子どもに強制したり、学校はきびしい所、先生を恐ろしいものだという印象を植えつけてしまってはたいへんです。

あくまでも、一年生になることの希望や喜びを子どもの心情の中に育てることを基本として、小学生になる自覚へと導いていくことがたいせつです。

このよろこびや自覚を基礎にして、いろいろな行動様式を自然と身につけさせていきたいものです

基本指導

学校生活に入るために身につけさせたい生活内容としては、いろいろなことが考えられますが、その中で基本的なことをあげてみましょう。

第一に子どもの生活をきまりよいものに導くことです。

(1)起床や就寝の時刻をきちんとして、すい眠をじゅうぶんとらせるなど規則正しい生活をするようにさせること。

(2)用便のしつけはもちろん洗面や歯みがきの習慣をつけること、

第二に身のまわりのことは自分で処理する習慣をつけることです。

(1)被服を自分でぬいだり、脱たりすること。

(2)自分の道具の整とんをすること

(3)自分のものと人のものが区別できるために「自分の名まえ」だけは読めるようにすること。

第三に健康に注意することです

生活のしかたや環境が急に変化することは、心理的にも身体的にも大きな圧迫を受けやすいものです

このような、生活様式の変化に耐えることができてこそ学校生活を楽しくすることができるのであります。

また、トラホームや皮ふ病などの伝染性の病気にかかっている子どもは、他のこどもにめいわくをかけるだけでなく、そのために劣等感を持つことにもなりかねないので治療しておきたいものです。

以上基本的なことがらについて書きましたが、子どもが心身ともに健康で、最もよい条件のもとに入学できるように細心の注意をはらっていただきたいものです。

今春の入学生は次のとおりです。

学校名	男	女	計
帖佐小学校	一九一	一七六	三六七
建昌小学校	一三五	一〇〇	二三五
三船小学校	一二一	一〇四	二二五
重富小学校	一四七	一三九	二八六
山田小学校	一六一	一四四	三〇五
成美小学校	一七一	一三一	三〇二
堂山小学校	一七一	一六一	三三七
木津志小学校	八一	六一	一四一
計	一七八	一八六	三六四
帖佐中学校	一三五	二二一	三三七
重富中学校	九〇	八六	一七六
山田中学校	六二	五〇	一二二
北山中学校	四〇	四四	八四
計	三七	三九二	六九

家畜共済加入についてお願い

組合の家畜共済事業はサービス事業として開設しています。家畜診療所を中心として組合員の協力と関係当局の支援のもとに組合員が不りょの事故によって受ける損失を補てんして、その農業経営の安定をはかることが目的で農業共済組合の諸事業のうちもっとも農家の信頼を得ているのであります。

この事業の中心をなす家畜診療所は、現在二名の獣医師を配置しこれに要する経費は主として家畜共済加入の際に納められる掛金の中に含まれている、共済掛金と診療収入で賄っています。当組合は対象家畜の少ないこと、地理的悪条件等により経営が困難な実情にあります。県としては、大体大家畜一〇〇〇頭に対し獣医師一名が健全経営の一応の線と考えられております。三十九年度の引受実績が一、三九七頭で、この面から見ても二名の獣医師を配置することに問題がありますが、本町の立地条件と家畜の分布状態からして、理想の二名の獣医師は最低限の必要人員として確保する必要があります。このことは組合員の強い要望でもあります。

そこで組合では近く国会に提出される家畜共済制度改正を通じて家畜診療所職員に対する人件費の国庫負担（共済組合の一般職員費は全額国庫負担）することにつき全国の共済団体とともに運動中でありますがいろいろの事情からして、これが早急なる実現は難しい見とおしでありますので組合は昨年九月町と町議会に家畜診療所に対し補助金助成の陳情書を提出しました。議会において満場一致これを採択していただきました。

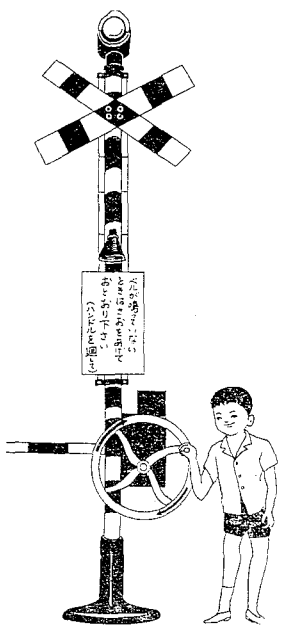
この経営をよくやるには組合として家畜共済の全頭加入をはかり財源の確保につとめて後に、なお不足する分について町費の補助を受けるのでなくてはならないのであります。

さきに申しましたように家畜診療所の獣医師の人件費の大半は家畜共済に加入している組合員の負担において賄われているのであります。大家畜を飼育してなお家畜共済に加入していない方もあります。この家畜も何時診療を受けないとも限らないのであります。「他人のフンドシで相撲をとる」というような自己本位ばかりでは世の中はなり立って行きません。

そこで現在組合では役職員の総力をあげて家畜共済の一斉引受を実施中でありますが、組合員の皆様の深い認識のもとにその引受成績も予期以上のものがあり、まことに心強い限りであります。職員参上の節は不りょの災害に備えるためになるべく高額の共済に加入ください。かくすることがひいては家畜診療所の健全経営化への一助となります。

（姶良町農業共済組合）

「てまわし踏み切り」
帖佐療養所横から松原間の踏み切り



四月はじめに「てまわし踏み切り」ができます。この踏み切りは列車が近づくと、ベルが鳴り、しゃ断棒が自動的におります。列車が通りすぎるとベルは鳴り止みますが、しゃ断棒はおりたままです

列車が通ったあと、最初の通行者がハンドルをまわして、しゃ断棒がとまるまで上げて、そのまま通ってください。しゃ断棒は次の列車がくるまで上がったままです

お願い

次のようなときは駅に知らしてください。

1、しゃ断機が折れているとき

2、列車がきても「ベル」が鳴らないとき

3、列車がきてもしゃ断機がおりないとき

4、ベルが鳴っていなくて、ハンドルを回しても、しゃ断機が上がらないとき

日赤・護国神社募金協力に感謝
手数料は町婦人会へ

婦人会の方々にお願いして募金していただいた40年度の日赤募金と鹿児島県護国神社の奉賛募金はこのほど目標額を達成して去る五月三十一日と八月十七日に県事務所宛それぞれ納付できました。これはみんなの御理解はもとより、婦人会役員の御協力の賜と感謝申し上げます。日赤募金は世界各国の人類と手をつなぐ赤十字事業の資金に当てられるものであり、護国神社奉賛会募金は、これまで国難に殉死された英霊を祀る鹿児島県護国神社（鹿児島市草牟田町）の社殿の屋根が腐敗しているので、銅板屋根にふき替えるための経費に当てられるものです。この募金の外に姶良町から個人的に多額の奉賛寄附をなさった方が多数あって、県の事務当局から大変感謝されています。募金実績は次の表のとおりです。婦人会へ還元しました。募金手数料は一括町で長い間入院　入所している姶良町出身の方々に、お見舞品を届けてお慰めいたしました。お礼の手紙も多数参っておりますが、なかには、判読に苦しむような文面の精神病患者や児童施設の子どもからのものもあります。今後もみんなの暖かい心で慰めてあげたいものです。

なお、帖佐中学校生徒から餅六梱包、帖佐小学校子ども会から、餅二梱包をいただきましたので、町内の生活に困っている方々に配布いたしました。皆さんも大変感謝しておられました。共同募金は県共同募金協会へ納めました。

共同募金・歳末助け合い募金実績

40年度の共同募金と歳末たすけあい募金は、暖かいご協力がありまして目標額が達成できたことを感謝申し上げます。助け合い募金は町の福祉協議会で

長期療養者施設　九カ所　養老施設　三カ所

児童施設　十二カ所　その他施設二カ所

部落名	日赤募金	護国神社募金	共同募金	歳末助け合い募金
十町	4.050	2.220	4.740	780
流蘆	4.500	2.700	5.220	865
三寺	2.150	1.230	2.580	450
上崎	3.200	1.950	3.960	650
水屋	2.200	1.320	2.640	490
岩都	3.150	1.890	3.900	550
仮屋	2.150	1.290		440
宇倉	2.500	1.290	2.760	500
納樋	7.000	3.810	7.020	1.200
鍋場	2.200	1.320	2.640	430
高町	4.150	2.430	4.740	860
上東	4.120	2.670	5.340	940
十日	6.950	4.170	9.000	2.880
帖駅	5.300	2.850	6.060	1.620
佐前	2.550	1.560	3.240	540
森昌	3.300	1.950	3.900	850
建妻	3.550	2.190	4.140	1.340
西之	2.750	1.620	3.360	510
楠元	3.800	2.070		710
袋原	3.000	1.800	4.410	
並木	4.150	2.385	4.520	1.090
並原	3.550	2.100	4.320	530
東原	1.200	870	1.440	
東ノ	1.600		1.980	
上小	1.850		2.160	
山明	2.200		2.280	
地山	1.800		2.220	
町口	1.600		1.820	
大蔵	500			
上門	2.010		2.220	
大路	2.600		3.120	
寺浜			1.000	
江神	1.380	840	1.620	
片村	1.900	1.140	2.340	
下湖	1.650	990	2.040	
下馬	2.000	1.200	2.820	1.410
駅場			2.880	510
錦浜				7.112
西第一				2.725
帖佐				70.865
帖佐	268.920	148.060	148.130	

部落名	日赤募金	護国神社募金	共同募金	歳末助け合い募金
白浜	2.550	1.530	3.060	510
梅山	3.600	2.160	4.320	1.100
坂下	2.950	1.770	3.540	600
油屋	2.350	1.410	2.880	850
仲町	2.750	1.650	3.360	545
年平	1.850	1.110	2.580	330
上上	3.850	2.220	4.320	1.270
上東	2.050	1.230	2.525	615
山野	3.300	1.980	4.100	960
白原	6.100	3.660	7.680	4.840
柿上	2.150	1.290	2.580	700
柿下	2.550	1.530	3.060	440
星花	3.450	1.880	4.200	1.340
口花	2.900	1.650	3.300	720
興野	3.450	2.070	4.140	650
竪野	5.050	2.230	5.860	900
原方	3.100	1.860	3.720	845
山口	2.700	1.560	3.360	900
城瀬	1.800	1.000	2.100	600
上流	1.750	1.050	2.100	500
城下	3.100	1.860	3.660	600
森山	2.500	1.500	2.940	575
触上	2.250	1.350	2.640	475
触下	2.650	1.635	3.200	595
福野	1.000	600	1.000	180
高牧	500	300	600	150
船上	2.800	1.650	3.300	560
船下	3.200	1.920	3.840	630
春上	3.500	2.040	4.320	650
春下	2.750	1.650	3.360	560
山元	1.450	810	1.860	250
黒野	1.600	960	1.740	260
寺師	6.850	3.810	4.200	1.320
住吉	3.650	2.130	4.260	740
永瀬	2.850	1.710	3.420	600
増田	2.600	1.560	3.060	520
中野	5.050	2.880	5.880	980
豊留	3.300	1.980	4.020	670
深水	1.050	630	1.260	250

部落名	日赤募金	護国神社募金	共同募金	歳末助け合い募金
馬場	2.250	1.350	2.640	390
馬場	1.550	930	1.860	300
馬山	1.650	990	1.980	330
ケ田	2.050	1.230	2.400	420
川原	1.800	1.080	2.100	350
田町	1.200	720	1.500	270
脇	1.750	1.110	2.100	360
城	1.400	800	1.560	250
良	600	330	660	110
狭山	2.100	1.260	2.520	420
田南	850	510	960	160
山瀬	1.850	1.100	2.160	380
瀬ノ	2.150	1.200	2.520	430
戸口	1.000	600	1.140	200
木段	1.900	1.050	2.220	300
山金	950	570	1.140	150
山野	1.050	600	1.320	200
ケ東	1.500	900	1.680	500
水西	1.950	1.170	2.160	410
田野	1.650	990	1.980	330
田追	1.350	780	1.560	355
ケ場	300	180	360	100
津脇	1.550	840	1.740	403
津牧	2.250	1.350	2.700	400
花東	1.900	1.140	2.220	400
花西	550	420	660	110
春生	1.200	720	1.440	250
山瓶	700	420	840	150
黒花	950	570	1.140	210
寺山	1.400	810	1.620	260
住堂	1.360	1.500		500
永木	1.500	870	1.740	300
増志	1.600	960	1.920	370
中津	900	540	1.020	190
豊堂	1.200	720	1.500	275
深上	1.800	1.080	2.220	370
中	1.650	990	1.920	200

法務局蒲生出張所（登記所）の登記管轄区域の変更

旧山田村の大字の全部と旧帖佐町の寺師、住吉、永瀬の三大字の不動産（土地家屋）の登記は、いままで蒲生出張所で取扱っていましたが、二月一日から加治木支局に変更されました。

これによって姶良町の登記関係は全部加治木法務局に統一されたことになります。

ぜひ見てください

「ひな祭り演芸会」
県立保養院（重富）

きたる三月三十一日午後一時県立鹿児島保養院の講堂で、ひな祭りの行事として、患者さんや病院の職員合同による演芸大会を開きますから、多数お出でください。

また、患者さんの慰問の意味で飛入もおおいに歓迎しています。演芸会の内容は、踊りやダンスその他劇もあります。

「阿波丸」の遺族をさがしています

大平洋戦争の末期、日本の貨物船「阿波丸」（一万二、〇〇〇トン）が台湾海峡で、米潜水艦の攻撃を受けて沈んだ、この遭難で死亡した二千二百七十三人の乗客と乗り組員の遺族たちが、四月一日の二十一年の命日に、この船が沈没した海域まで出かけて供養するとともに、神戸に慰霊碑を建てる計画をすすめています。

このことについて、豊中市におられる「新井慶子」という方から遺族に呼びかけていますから、遺族の方がおられたら役場福祉課へ連絡ください。